

決 算 審 査 特 別 委 員 会

平成 2 6 年 9 月 5 日（金曜日）

決 算 審 査 特 別 委 員 会

平成26年9月5日（金曜日）

付議事件

委員長の互選

副委員長の互選

決算審査日程について

決算審査方法について

出席委員（9名）

委員長	島田和雄
委員	木内欽市
委員	景山岩三郎
委員	伊藤房代
委員	飯嶋正利

副委員長	太田將範
委員	滑川公英
委員	向後悦世
委員	宮澤芳雄

欠席委員（なし）

委員外出席者（2名）

議長	高橋利彦
----	------

副議長	平野忠作
-----	------

事務局職員出席者

事務局長	伊藤恒男
------	------

事務局次長	高安一範
-------	------

開会 午前10時24分

○議会事務局長（伊藤恒男） それでは、本会議でお疲れのところ、ご苦労さまでございます。

それでは、決算審査特別委員会を開催するに当たりまして、委員長が選出されておられませんので、旭市議会委員会条例第10条第2項の規定によりまして、委員長が選出されるまでの間、出席委員の中の年長者でございます滑川公英委員に座長を務めていただきたいと存じます。

それでは、滑川委員、よろしくお願いいたします。

（座長 滑川公英 座長席に着席）

○座長（滑川公英） ただいまご指名いただきました滑川公英でございます。

委員長が選出されるまで、しばらくの間、会議の進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

ただいまの出席委員は9名、委員会は成立いたしました。

それでは、ただいまより決算審査特別委員会を開会いたします。

本日、高橋議長、平野副議長に出席をいただいておりますので、高橋議長よりご挨拶をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

○議長（高橋利彦） 委員の皆さん、大変ご苦労さまでございます。

ただいま本会議におきまして、9名の皆様方に決算審査特別委員会委員を選任いたしました。これから、正副委員長の互選でございますが、本委員会は平成25年度の決算という大変重要な審査があります。十分なる審査をお願い申し上げまして、簡単でございますが挨拶に代える次第でございます。よろしくお願いいたします。

○座長（滑川公英） どうもありがとうございました。

それでは、案件でございますが、決算審査特別委員会の正副委員長の互選の件について。

初めに、委員長の選出についてお願いしたいと思います。

それでは、どなたか推薦をお願いしたいと思います。

景山委員。

○委員（景山岩三郎） 私の考えといたしましては、今まで委員長をやったことのない人がいいのかなと思います。それで、もう一つつけ加えれば、各常任委員会の委員長でない方のほうが、一つ経験してもらって、いいんじゃないかなと思いますけども、皆さんのご意見はど

うでしょうか。

○座長（滑川公英） 今、景山委員のほうから、委員長経験者はやらないで、違う方々からというお話でございますが、この名簿の中で、事務局のほうで過去のことを調べていただいておりますが、木内欽市議員、滑川、それから向後悦世議員、この3名につきましては、委員長経験ということでございます。それと、副委員長経験は景山岩三郎議員、それから伊藤房代議員、それから島田和雄議員です。年長でいいますと、景山議員が一番最年長、その次であると太田将範議員です。

事務局の調査の中では、こういう話でございますが、皆様、いかが取り計らいましょうか。よろしく願いいたします。

景山委員。

○委員（景山岩三郎） その中で、一番最初に名前が呼ばれましたけども、今、私は議運の委員長を預かっていますので、それ以外で、やっぱり期数等もいろいろあると思いますので、相談してもらいたいなと思います。

○座長（滑川公英） 辞退したい。

○委員（景山岩三郎） ええ。

○座長（滑川公英） 飯嶋委員。

○委員（飯嶋正利） 景山委員のほうに、そういった話がありましたんで、そうすると、伊藤房代委員か島田和雄委員ということになるんですが、ということですよね。話し合いでお願いできれば、ありがたいなと思います。

○座長（滑川公英） いかが取り計らいましょうか。

島田和雄委員。

○委員（島田和雄） それでは、委員長を伊藤房代議員にお願いしたいと思います。

○座長（滑川公英） 伊藤委員。

○委員（伊藤房代） 私は、やっぱり文教、またいろいろ各委員の委員長さんおりますので、できれば島田和雄委員のほうにお願いできればと思いますけれども。

○座長（滑川公英） いかが取り計らいましょうか。

そのほかの皆さんの意見は。

島田委員、どうしますか。

○委員（島田和雄） 伊藤房代議員が辞退されるということになれば、次は順番かなという思いは持っておりますけども。

(発言する人あり)

○委員(島田和雄) じゃ、そういうことであれば、お引き受けさせていただきます。

○座長(滑川公英) じゃ、島田委員を決算審査特別委員会委員長とすることよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○座長(滑川公英) ご異議なしと認めます。

よって、島田和雄委員が委員長に決定いたしました。

ここで、委員長と交代いたします。

どうもありがとうございました。

(委員長 島田和雄 委員長席に着席)

○委員長(島田和雄) ただいま皆様のご推挙によりまして委員長を務めさせていただくことになりました島田でございます。どうぞよろしくご協力のほどをお願いいたします。

引き続き、決算審査特別委員会副委員長の選出を行いたいと思います。

それでは、どなたかご推薦をお願いいたします。

向後委員。

○委員(向後悦世) 経験していない方というような話が多いので、その中で年長者という
と太田将範委員なのかなと思いますので、太田将範委員を薦めたいと思いますが、いかがで
しょうか。

○委員長(島田和雄) ただいま、向後委員より、副委員長に太田委員をとのご意見がござい
ました。

太田委員を副委員長とすることよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(島田和雄) ご異議なしと認めます。

よって、太田委員を副委員長とすることに決定いたしました。

ここで、副委員長よりご挨拶をお願いいたします。

○副委員長(太田将範) 突然のご指名で驚いております。ふつつか者でございますけれども、
委員長を助けて、無事に審査が終わるように努力しますので、よろしくお願いいたします。

○委員長(島田和雄) ありがとうございました。

なお、ただいまの正副委員長の当選結果については、この後、本会議において議長より報
告をしていただきます。

次に、事務局より協議事項がございますので、よろしくお願いいたします。

○**議会事務局長（伊藤恒男）** それでは、決算審査の日程と各議案の審査方法につきましては、先日の全員協議会でご了承いただいたところでございますが、改めてご説明をいたします。

お手元に配付してございます資料1をご覧くださいと存じます。

決算審査の日程については、9月12日、16日、17日の3日間を予定してございます。昨年までは1日目に一般会計を、2日目に特別会計と企業会計を審査し、3日目を予備日といたしておりました。

審査方法ですが、一般会計は、従前は歳出の款を四つに区分をいたしまして、歳入歳出を併せて審査し、特別会計と企業会計は会計ごとに歳入歳出を併せて審査をいたしておりました。今回は、一般会計の審査方法につきましては、初めに歳入全般についての審査を行いまして、歳出につきましては、款を四つに区分せずの一つの款ごとに歳入歳出を併せて審査することとしております。

日程につきましては、日にちでは区切らずに、順次審査することといたしております。

なお、特別会計と企業会計につきましては、従前どおりの審査方法となります。

また、執行部の職員の出席であります。款ごとに入れ替わると時間もかかりますので、従来の区分どおり、四つに区分をして対応していただきまして、款ごとに審査をしていくということでございます。

説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○**委員長（島田和雄）** 事務局の説明は終わりました。

ただいま、事務局より決算審査の日程及び各議案の審査方法についての協議がございました。

それでは、ご意見がございましたらお願いいたします。

ないですか。

（「なし」の声あり）

○**委員長（島田和雄）** 特にご意見がないようですので、決算審査の日程及び審査方法については、ただいまの事務局の説明のとおりということで決定させていただきます。

なお、一般会計の歳出の審査については、1款から順次審査していくということですが、1款は議会費となりますので、2款の総務費から審査をしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

次に、事務局より確認事項がありますので、よろしくお願いいたします。

事務局長。

○議会事務局長（伊藤恒男） それでは、確認事項を申し上げます。

ただいま、決算審査の日程と各議案の審査方法につきまして決定をいたしました。また、執行部の説明者の出席につきましても、従前と同じ区分ということで決定をいたしましたので、その旨を執行部へ事前に連絡したいと思います。

以上でございます。

○委員長（島田和雄） 事務局の確認事項は終わりました。

以上をもちまして決算審査特別委員会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

閉会 午前10時37分